

斑点米カメムシ類の防除効果が高い薬剤の使用推進

1 普及活動のねらい

海部管内では、令和5年産水稻において特定の薬剤に抵抗性を有するイネカメムシが発生したことにより、甚大な減収被害が発生した。管内水田の主要な担い手である、JAの営農受託部会の構成員に対して、イネカメムシの防除効果が高い薬剤の使用を推進していく必要がある。

2 普及活動の成果

全ての部会で防除効果が高い薬剤へ切り替えられ、無人ヘリコプターやドローン等による防除が実施された。結果、ほぼ全域でイネカメムシによる減収被害を防ぐことができた。部会・研修会や個別巡回の際に、薬剤による殺虫効果や残効の差を説明し、効果の高い薬剤を選定するよう指導を重ねたことで、全ての部会で一斉に切り替えが進んだ。また、予察ほ場を設置し、発生状況を調査することで薬剤の効果の高さが確認された。予察ほ場の調査結果を部会の構成員へ周知することで、切り替え後の薬剤の効果の高さが理解され、次年度以降も当該薬剤を使用することが合意された。

3 普及活動の内容

イネカメムシの発生状況を管内で幅広く確認するため、合計25か所の予察ほ場を設置した。また、イネカメムシの発生が確認された出穂期以降は、週2回の頻度で調査を行い、きめ細かく発生状況を確認した。調査で確認されたイネカメムシの発生状況は、速やかに農家及び農協職員等の関係者と情報共有し、期を逸することなく適切な防除が行われた。



写真1：無人ヘリコプターによる薬剤散布



写真2：薬剤散布後の死虫

重点課題名	2 海部地域の水田作を担う経営体の安定維持
普及事項名	(1) 斑点米カメムシ類の防除効果が高い薬剤の使用推進